

令和7年度バドミントン秋季大会 競技上の注意事項

- ① 全試合15点の得点制限を行います。14点オール以後は2点先取、上限21点です。
すべての試合において次の試合まで10分を空けます。
- ② 各試合のシャトルの支給はありません。シャトルは各校持ち寄りです。
シャトルの温度番号は「3番」です。
- ③ 各試合に際し、各校から線審を1名同行させてください。
- ④ 試合のコール後、5分たってもコートに揃わない場合は、棄権になる場合があります。
本部からのコールをよく聞いてください。
- ⑤ 各試合前の練習時間は設けません。各自で事前に準備運動、ウォーミングアップを行い、ケガをしないように注意してください
- ⑥ 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバッグに入れてください。
- ⑦ コート付近での携帯扇風機の使用は禁止します。
- ⑧ 審判は各コートの1試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。
2試合目以降からは前試合の敗者が主審（サービスジャッジも兼任）・得点表示となります。
スコアボードは本部から運ばれますので敗者はそのままコートに残り、搬入を待ってください。

サービスジャッジは、ポストにコート面から1.15m高さのところにマークがありますので、そのマークを基準にコート面から1.15m高さのところに水平面をイメージし、判定してください。

- ⑨ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。
必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。
- ⑩ 応援においては、プレーの妨げや周囲の観客への迷惑などの理由から、うちわ・メガホン・鳴物の使用、歌を歌ったり拍手を長くしたり足を踏み鳴らしたり、観戦席やベンチで立ち上がることは禁止です。
- ⑪ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に2名までです。
- ⑫ 本大会は、2025年度 日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。
サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。
ゲーム内、8点の際の60秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。ゲーム間は120秒です。両者とも残り20秒でコートインをお願いします。
ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。
- ⑬ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、個人戦では当該選手に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。
- ⑭ サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。
以下のルール改正に伴い、スピンサーブはフォルトとなります。
バドミントン競技規則 第9条 サービス 第1項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初にシャトルの台を打つものとする。